

素謡

神歌

武田 文志

武田 章志

今村嘉太郎
今村 一夫
坂口 貴信
佐川 勝貴

舞囃子

高砂

武田 宗典

大鼓 白坂 保行
小鼓 飯富 孔明

大鼓 吉谷 潔
笛 森田 徳和

地謡 松本 崇俊
今村嘉太郎

武田 友志
山本 章弘
松本 千俊

狂言

末広かり

果報者 野村 萬齋

太郎冠者 内藤 連
すっぱ 深田 博治

博治

十四時二十五分頃

休憩 二十分

お話

武田 宗典

仕舞

羽衣 之段

キリ

武田 宗和
山本 章弘

地謡

山本 麗晃
宮本 茂樹
馬野 正基
佐川 勝貴

能
石

橋

大獅子

寂照法師 飯富 雅介

大鼓 白坂 保行
小鼓 飯富 章宏

大鼓 吉谷 潔
笛 森田 徳和

仙人 深田 博治

後見 坂口 貴信
森本 哲郎

地謡

宮本 茂樹
今村 一夫
武田 宗典
鷹尾 章弘
松本 千俊
武田 宗和
馬野 正基

終了予定十六時

奉祝能楽鑑賞会に寄せて

宇佐神宮宮司 小野 崇之

令和七年は十年毎の勅使参向による臨時奉幣祭（勅祭）、併せて宇佐神宮御鎮座千三百年の佳節をお迎えします。

宇佐神宮では年間を通じて様々な儀式、行事が執り行われますが、中でも当神宮で催される能楽は御神能とも呼ばれ、その歴史は古く鎌倉、室町時代にまで遡ります。秋の総りに感謝する風除報賽祭に併せ毎年十月二十一日に能楽殿において奉納上演されます。今日では神明明覧（神能上演記録）とともに大分県重要無形文化財に指定され連綿と継承されています。

先年実施しました能舞台をはじめ菱形池周辺の整備事業を契機として、御神能や能楽に対して多くの方々が改めて関心を寄せるようになりました。神社を取巻く伝統文化の護持継承が厳しさを増す中で真に明るい兆しであります。

特に、今回の能楽鑑賞会は、観世流武田先生御一門をはじめ錚々たる能狂言師の方々の格別な御理解と御協力を得て開催されるものであります。誠に有難く深甚なる感謝と御礼を申し上げます。



因みに、四月一日は御祭神応神天皇の式日であります。所縁あるこの日に皆様方とともに御鎮座千三百年を言祝ぎたく存じます。